

東京建物にてダイナミックマッププラットフォームの 3Dmapspocket®が採用 不動産開発用途での活用を推進

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO:吉村 修一、以下「当社」)は、当社が提供する総合 3D 空間プラットフォーム「3Dmapspocket®」が東京建物株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役 社長執行役員:小澤 克人、以下「東京建物」)へ採用されましたことをお知らせします。

「3Dmapspocket®」は、当社が取得した全国の高速道路・自動車専用道路・主要幹線道路の 3 次元点群データと Google Photorealistic 3D Tiles を統合し、ブラウザ上で計測・分析・配置などの複合的な空間検証をワンストップで行える総合 3D 空間プラットフォームです。実世界に限りなく近い高精度な 3D 空間データを扱える点を特長としており、任意の 3D オブジェクトの配置や、建物からの眺望・室内の任意地点からの見え方など多角的なシミュレーションが可能です。

東京建物においては、不動産開発における開発計画の立案や景観・配置検討などでの活用を予定しています。関係者間での認識共有を円滑にし、検討プロセスの効率化を図ることで、意思決定の迅速化への貢献が期待されます。



当社は、本件を契機として、不動産開発用途における「3Dmapspocket®」の活用を一層推進してまいります。

<ダイナミックマッププラットフォーム株式会社について>

当社は日本政府によるバックアップのもと、国内自動車メーカー10社等の出資により設立されました。日本をヘッドクォーターに、北米・欧州・中東・韓国に拠点を構え、現在26ヶ国で事業を展開。自動運転や先進運転支援システム(ADAS)をはじめ、シミュレータ環境構築、インフラ管理、除雪支援など、幅広い用途に向けて高精度3次元データを提供しています。

「Modeling the Earth」=地球のデジタル化をビジョンに、高精度3次元データのプラットフォームとして、様々な産業分野におけるイノベーションを共創します。

設立: 2016年6月

本社: 東京都渋谷区

代表者: 吉村 修一

事業内容: 自動運転・ADASをはじめ多様な産業を対象とした高精度3次元データの提供

公式サイト: <https://www.dynamic-maps.co.jp/>

公式 X: https://x.com/dynamic_maps